

広島市
医師会運営

安芸市民病院だより

理念

私たちは 患者様の立場にたって、
信頼され 満足される、
地域に密着した医療を提供します。



「光の波に揺れる」

寺田博司さん

撮影地：八幡高原

新任挨拶

安芸市民病院 呼吸器内科 柳谷 奈都子

2025年4月より、安芸市民病院 呼吸器内科に赴任いたしました柳谷奈都子と申します。令和2年に高知大学医学部を卒業後、マツダ病院で初期研修を修了し、広島大学呼吸器内科に入局いたしました。その後、中国労災病院および広島大学病院に勤務し、呼吸器内科領域のみならず、一般内科や内科救急など幅広い診療経験を積ませていただきました。

当院には現在、呼吸器内科の医師が4名在籍しており、毎日外来診療を行っております。主な診療対象は、呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺炎などの良性疾患です。また、肺がん検診の精査目的でご紹介いただくケースも多く、地域の先生方と密に連携しながら診療を行っています。

呼吸器疾患は、日本人の主要な死因の一つであり、死因の第5位に肺炎、第6位に誤嚥性肺炎が挙げられます。今も感染症の流行が続き、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎なども散発しています。こうした背景から、呼吸器領域は今後ますますニーズの高い分野といえます。患者様の呼吸の不調に早期に気づき、重症化を防ぐことで、地域全体の健康維持に貢献できるよう努めてまいります。また、この地域ではご高齢の患者様が多く、複数の疾患を抱え、多くの薬を内服されている方も少なくありません。通院が困難な患者様もおられるため、病院のみで完結する医療ではなく、地域の医療機関や訪問看護、介護との連携が重要と感じています。当院では在宅医療にも力を入れており、私自身もこの夏から訪問診療に携わっています。治療だけでなく、患者様のご自宅で安心して療養するために何が必要かを考えながら、患者様やご家族に寄り添う医療を目指しています。

今後とも何卒よろしくお願いたします。

安芸医学会で会長賞を受賞しました

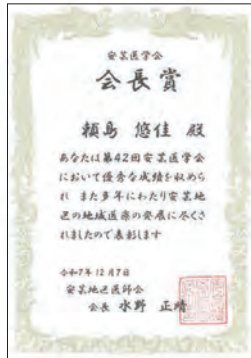
第42回安芸医学会において「自宅での看取りを実現した終末期透析患者の一例」を発表し、会長賞を拝受いたしました。

近年、尊厳ある人生の完成を支援するアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の重要性が高まっています。特に終末期患者にとって、本人の意思を尊重した療養場所の選択は極めて重要です。しかし、終末期の透析患者は、医療依存度の高さや在宅医療体制の課題、家族の介護負担などから、自宅療養を断念せざるを得ないケースが少なくありません。本症例では、ACPIに基づき共同意思決定を繰り返し実施し、多職種連携によるサービス調整の結果、患者本人の「最期まで自宅で」という意思を尊重し、透析を継続しながらの自宅療養を実現することができました。

終末期透析において、透析の見合わせや継続を検討する際、病状や心境の変化に伴い患者の意思は流動的に揺れ動きます。ゆえに、本人の意思決定を尊重し続ける円滑なプロセスの継続が不可欠です。今後は、

早期からのACP提案と、定期的な見直しを可能にする具体的な仕組みづくりを課題とし、より質の高い終末期ケアの実践に取り組んでまいります。

（腎臓内科医師 頼島 悠佳）



Jonsenの臨床倫理4分割表を用いた本症例の振り返り	
医学的適応 (Medical Indications)	患者の意向 (Patient Preference)
糖尿病性腎症による末期腎不全、血液透析歴8年。 低心機能、低アルブミン血症、慢性貧血による透析困難症が進行。 体液貯留・両側多量胸水あり。 心不全・急変のリスクが高い。 急変時はDNAR。 入院時にACP確認、入院中繰り返し共同意思決定を支援した。	本人に判断能力あり。 「自宅で最期まで過ごすこと」を最も重視。 自然な形で最期、必要最低限の治療を希望、延命治療は拒否。 透析を続けたい。
QOL (Quality of Life)	周囲の状況 (Contextual Features)
様々な身体的・精神的苦痛： 下肢潰瘍の痛み。 体夜貯留による呼吸苦。 透析に伴う痛風発作・動悸の苦痛。 自宅で過ごしたいが入院することになった苦痛。 妻以外の人がケアを受けることによる苦痛。 入院中の介入により身体的苦痛の緩和が出来た。 退院後、自宅で療養することで精神的な安寧が得られた。	妻（主介護者・元介護士）： 腰椎圧迫骨折があり、疼痛と介護負担への不安が強かった。 本人の自宅退院への強い思いから、家での介護を決心。 退院後のサポート体制： 介護タクシー（週3回通院） 訪問看護（非透析日週4回）

栄養・褥瘡委員会の活動

令和5年より栄養管理チームのNSTと褥瘡管理委員会が統合され栄養・褥瘡管理委員会となりました。委員会のチーム員は医師をはじめとする多職種から構成され日々情報共有や症例検討を活発に行い、褥瘡の発生率低下と早期治癒を目指し質の高い医療が提供できるよう取り組んでいます。

褥瘡管理の中でも特に褥瘡を発生させないケアは褥瘡管理において重要となります。私たちはリスクの高い患者さんに対し褥瘡を発生させない取り組みの一つとして褥瘡を予防するための圧切替型マットレスを20台新たに購入しました。

更に先日、購入したマットレスを効果的に活用するためにメーカーさんに来ていただき、エアマットレスの勉強会を行いました。勉強会には委員だけでなくそれ以外の院内スタッフも参加しマットレスを効果的に活用できるようための知識を深めることができました。

今後も多職種がワンチームとなり「褥瘡ゼロ」を目指して取り組んでいきたいと思っております。



介護福祉士会議の取り組みについて

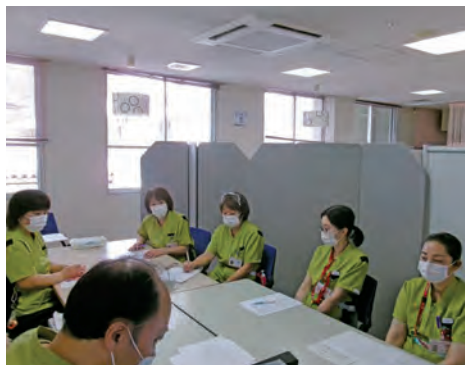
当院の介護福祉士は、平成20年より独立した一つの職種となりました。それまでは看護助手として、入院患者様の身の回りのお世話や看護業務の補助を行ってきましたが、独立後は、より生活支援に特化した職種として、専門知識に基づいたケアを提供しています。

職種独立時より、専門職としての活動の一環として、介護福祉士会議を開催しています。

ケアの質向上を追求した取り組み、生活支援上のリスクを研究し対応を検討する取り組み、患者様の入院生活や退院後の生活を見据え、総合的に支援する方法の検討など、様々な取り組みを行い、現場への還元を行って来ました。

今年の秋より、介護医療院が開設されます。これまでは、医療職の中であって、如何に専門職として存在感を示すことができるか、活動の中で試行錯誤を重ねて参りましたが、療養病棟が介護保険施設となり、文字通り介護福祉士が先頭に立って専門性を発揮する場が生まれることとなります。

介護医療院は、その誕生から現在に至るまでの歴史が浅く、これからの施設とされています。当院では、生活支援職として一緒に働いて頂ける方を募集しています。新しい施設として、一緒に歴史を紡いで行きましょう。



院内のクリスマス行事について



12月6日土曜日に緩和ケア病棟アトリウムで、ひと足早いクリスマス会を開催しました。

スタッフ一同心を込めて準備を行い、当日は、クリスマスの温かな雰囲気にもまれ、病棟いっぱいたくさんの笑顔が溢れました。

参加スタッフは、サンタクロースやクリスマスにちなんだ着ぐるみや帽子とポンチョを身に付け、患者様やご家族もカチューシャを付けてクリスマス一色です。ご協力して下さった方々に感謝を申し上げます。

また、12月23日火曜日には、当院運営保育施設すこやか保育園でもクリスマス会が開催され、こどもたちの楽しい声で満たされた一日になりました。サンタクロースも訪問してくれて、とても楽しい時間となりました。

今後も楽しい時間を提供できるように、院内で継続していきたいと思えます。



専門外来のご案内

— specialty outpatient clinic —

	曜日・時間	担当医
外来化学療法	毎週 月曜日～土曜日 (水曜日を除く)	担当医
緩和ケア外来	毎週 月曜日～土曜日 (水曜日を除く)	松浦 将浩
小児専門外来	毎週 月曜日 14:00～17:00	坂野 堯
禁煙外来	毎週 火曜日 11:00～12:00	檜崎 唯
糖尿病外来	毎週 月・火・木・金曜日 8:30～12:00	三玉 康幸
認知症・頭痛外来	毎週 金曜日 13:30～17:00	中森 正博
腎疾患外来	毎週 火・金曜日 10:30～13:00	宮崎 真美 頼島 悠佳
下肢静脈瘤・不整脈外来	第2・4 土曜日 8:30～12:00	高橋 信也
睡眠時無呼吸外来	随時	呼吸器内科医
スギ花粉症外来	随時	呼吸器内科医
看護相談外来	第1・3 火・木曜日 13:00～16:00	認定看護師

※専門外来は予約制になります。地域連携室にご連絡下さい。

外来診療担当医表

the outpatient department medical treatment medical attendant

令和8年2月1日～

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	初診	檜崎 唯	榎橋 弘貴	青木 信也	齊藤 尚美	柳谷奈都子	
	初再診	青木 信也	吉川 一紀	柳谷奈都子	吉川 一紀	榎橋 唯	
	再診	柳谷奈都子	齊藤 尚美	榎橋 弘貴	榎橋 弘貴	榎橋 弘貴	
	初再診	三玉 康幸	三玉 康幸	三玉 康幸	三玉 康幸	吉川 一紀	
午後	初再診	榎橋 弘貴	三玉 康幸			榎橋 唯	柳谷奈都子
						中森 正博	吉川 一紀
外科 (循環器科) リハビリ アセスメント科	午前	初再診	吉良 孝之	末田泰二郎	吉良 孝之	吉良 孝之	末田泰二郎
	午後		末田泰二郎		末田泰二郎	高橋 信也 (第2・第4)	
訪問診療	午後			頼島 悠佳		(手術日)	(手術日)
						柳谷奈都子	末田泰二郎 (午前のみ)
小児科	午前	初再診	伊藤 典子	伊藤 典子	伊藤 典子	伊藤 典子	藤井 肇
	午後		伊藤 典子	岡島 宏易	坂野 堯 (第2のみ)	坂野 堯 (第1・第3・第5)	藤井 肇 (第1・第3・第5)
人工透析			腎臓内科医	腎臓内科医	腎臓内科医	腎臓内科医	腎臓内科医
			担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
緩和ケア	予約制	初再診	松浦 将浩	松浦 将浩	松浦 将浩	松浦 将浩	松浦 将浩
上部内視鏡検査	午前		吉川 一紀	青木 信也	吉川 一紀	青木 信也	青木 信也
	午後		吉川(青木)	青木(吉川)	吉川(青木)	青木(吉川)	青木(吉川)
検査室 検査者			吉川 一紀			吉川 一紀	

休診日
※腎臓内科医

1)第1土柳谷奈都子 第2土榎橋唯 第3土齊藤尚美 第4土青木信也 第5土榎橋弘貴
 ※土曜日は平常通りの診療を行います。※土曜・日曜・祝日の18:00～23:00は急患の受付を行います。※木曜日の午後
 (8:27-05:48)には送信ください。※小児科予約受付は月曜日午後から予約制となります。(毎月第2・第4金曜日の13:00より
 予約制のBCG接種)※毎月第2木曜日は、午前・午後とも坂野医師による診療となります。※検査や入院につきまは
 は地域連携室にお気軽にご連絡ください。(受付時間:8:30～17:30 水・水曜・休日を除く) 検査・上部および下部消
 化管の内視鏡検査・気管支鏡検査は予約制です。胃透視・注腸検査・腹部エコー・心エコー・CTなどは適宜施行します。



年末年始の受診者数

	令和7年 12/29 (月)	12/30 (火)	12/31 (水)	令和8年 1/1 (木)	1/2 (金)	1/3 (土)	合計
内科	7	9	72	72	58	66	284
外科	0	0	30	11	15	21	77
小児科	-	-	31	-	-	-	31
透析	24	18	26	17	23	20	128
在宅訪問	0	6	0	3	0	2	11
計	31	33	159	103	96	109	531

広島市医師会運営・安芸市民病院

〒736-0088 広島市安芸区畑賀二丁目14番1号
 TEL(082)827-0121(代表)
 FAX(082)827-0561
 URL:http://www.hosp.city.hiroshima.med.or.jp/

■診療科目
 内科 リハビリテーション科
 外科 小児科
 呼吸器科 緩和ケア
 循環器科 人工透析

■受付時間
 午前8時30分～午前11時30分
 午後1時00分～午後4時30分

■診療時間
 午前8時30分～午前12時00分
 午後1時00分～午後5時00分



現在の新棟の様子(令和8年2月撮影)